

### <助産学専攻科設置の趣旨>

近年の需給見通しでは助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、更に助産師の需要が増加する可能性がある。

また、少子高齢化が急速に進行する中で、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術をもって、女性の生涯における健康支援に貢献できる、人間性豊かな助産師が強く求められている。

畿央大学は、奈良県内の4年制大学では初となる助産学専攻科を設置して、助産師の養成を行うこととした。

看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的として、市民や地域住民が安心して子どもを出産し、育てることのできる環境づくりを側面から支援することを目指す。